

授業実践のまとめ

小学校図画工作科 第4学年 題材名 色合いひびき合い

（日本文教出版 ためしたよ 見つけたよ 図画工作 3・4 下 pp.22-23）

内容のまとめ：第3学年及び第4学年 鑑賞…「B鑑賞」(1)ア、〔共通事項〕(1)ア、イ

1 題材の目標

- (1) 指で絵の具を混ぜるときの感覚や行為を通して、色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。
- (2) 色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分や友人が制作した色カードの造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。
- (3) つくりだす喜びを味わい、進んで指で絵の具を混ぜて表現したり、色や形、それらの組合せなどを鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。

2 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
指で絵の具を混ぜるときの感覚や行為を通して、色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。	色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分や友人が制作した色カードの造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい、進んで指で絵の具を混ぜて表現したり、色や形、それらの組合せなどを鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。



3 題材の指導と評価の計画(全2時間) (○…指導に生かす評価 ◎…記録に残す評価)



時間	■学習のねらい・学習活動	知 技		思		態	留意点
		知識	技能	発想や構想	鑑賞		
1	<p>■指で絵の具を混ぜるときの感覚や行為を通して、色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指で絵の具を混ぜて、色カードを制作する。 ・ 制作した色カードの中から、お気に入りの色カードを1枚選ぶ。 	○ ◎ 観察 対話 色カード	—	—	—	◎ 観察 対話 発言 色カード ワークシート	<p>「知識」については、色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じなどについて、児童の様子を観察する、問い掛ける、色カードを確認する、児童の様子をデジタルカメラで記録するなどして学習状況を把握し、記録に残す。</p>
2	<p>■色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分や友人の制作した色カードの造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループで色カードを見比べながら並べる。 ・ 並べた色カードの中から素敵だと思う部分を見付け、1人1台端末で撮影する。 	—	—	—	◎ 観察 対話 発言 ワークシート		<p>「思考・判断・表現（鑑賞）」については、児童の様子を観察する、問い掛ける、児童の様子をデジタルカメラで記録する、ワークシートを確認するなどして、全員の学習状況を把握し、記録に残す。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」については、活動を通して観察する、授業後や題材終末に振り返りを行う、児童の様子をデジタルカメラで記録する、色カードやワークシートを確認するなどして、全員の学習状況を把握し、記録に残す。</p>

4 本時の目標

(1 題材の目標と同じ)

5 本時の展開(全2時間)

	学習活動	・指導上の留意点 □評価規準【評価方法】	ポイント
導入	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> 	<p>・児童の色カード制作への意欲を引き出すために、教師の色カードを提示し、感じたことや気付いたことを尋ねる。さらに、制作への意欲を高めるために、指を使って絵の具を混ぜることで、様々な色や形ができることを伝える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>色カードを見るときの鑑賞の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何色が見えますか？ ・どのような混ぜ方をしていますか？ ・どのようなことをイメージしましたか？ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>めあて1 思いのままに指で色をまぜて、できる色や形を楽しもう。</p> </div>	<div style="background-color: #e0f0ff; padding: 5px; border: 1px solid #add8e6;"> <p style="text-align: right; color: #000080;">導入</p> <p>【導入の工夫】 児童が活動への意欲を高め、活動の見通しをもつことができるようにするための導入 →詳細はp.4</p> </div>
展開	<p>2 指で絵の具を混ぜて、色カードを制作する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>予想される児童の反応</p> <p>混ぜ方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぐるぐる円を描くように混ぜたら流れているみたいになるよ。 ・とんとん叩くようにすると、指の跡が付いて面白い。 ・ごしごし擦るように混ぜると、かすれてきれい。 <p>色について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青と白を混ぜたら、海みたいになった。 ・赤と橙を混ぜたら、暖かい感じがする。 ・たくさん色を混ぜると暗い色になる。 <p>形について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぐるぐる混ぜたら、丸い形になった。 ・カード全体を塗ると、四角になるね。 ・絵の具が多いと、でこぼこになったよ。 </div> 	<p>・友人の活動を参考にすることができるように、机はグループにする。</p> <p>・多様な色づくりや混ぜ方ができるように、色カードは何枚も制作してよいことを伝える。</p> <p>・色の数は制限をしないが、色を変えたり追加したりする場合には、指についた絵の具を拭き取ってから混ぜるように指導する。</p> <p>・指を使った活動に難色を示す児童に対しては、ビニールの手袋を渡す。</p> <p>・制作した色カードは、乾かすために机の上に並べるように伝える。その際、意図をもって並べている児童がいれば、その意図を尋ねる。</p> <p>・児童の色の混ぜ方に着目しながら観察し、新しい混ぜ方をしている児童を見つけて、ほかの児童が共有できるように紹介する。</p> <p>・混ぜた色や混ぜ方によるイメージについて発言したりつぶやいたりしている児童を見付け、適宜、紹介する。</p> <div style="border: 1px solid #add8e6; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【知識】指で絵の具を混ぜるときの感覚や行為を通して、色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。</p> <p style="text-align: right;">【観察・対話・色カード】</p> </div>	<div style="background-color: #e0f0ff; padding: 5px; border: 1px solid #add8e6;"> <p style="text-align: right; color: #000080;">事前準備</p> <p>【材料・用具の準備と場の設定】 材料や用具については、題材の内容や指導のねらいによって、種類や量を考えます。材料や用具の置き場所や机の配置についても、児童の動きを想定して場の設定を考えます。</p> </div> <div style="background-color: #e0f0ff; padding: 5px; border: 1px solid #add8e6; margin-top: 10px;"> <p>【工夫2】 活動を活発にし、見方や感じ方を広げるための場の設定 →詳細はp.5</p> </div>
	<p>3 お気に入りの色カードを1枚選び、その理由をワークシートに書く。</p>	<p>・制作した色カードの中から、お気に入りの色カードを1枚選び、その理由をワークシートに記入する活動を通して、色や形、それらの組合せに着目できるようにする。</p> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【態度】進んでお気に入りの色カードを選び、色や形、それらの組合せなどを鑑賞しようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【観察・色カード・ワークシート】</p> </div>	<div style="background-color: #e0f0ff; padding: 5px; border: 1px solid #add8e6; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: right; color: #000080;">児童の見取り</p> <p>【共感的な声掛け】 一人一人が何を感じ、何を考えているのか、児童の思いを汲んで、共感的な声掛けをしていくことが大切です。</p> </div>

<p>展開 ②</p>	<p style="text-align: center;">めあて2 グループで色カードを見くらべながら、すてきにならべよう。</p> <p>4 グループで色カードを見比べながら、並べる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>予想される児童の反応</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>色の組合せについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じような色を並べると、だんだん色が変わって行くようで、きれい。 ・自分のお気に入りカードが目立つようになるときに補色を並べたよ。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>形について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丸い形を集めて並べたら目が回りそうになった。 ・四角の色カードを集めて四角に並べたら、かくかくして面白いわ。 </div>  <p>5 並べたカードを撮影したものについて学級全体で話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が、色や形、それらの組合せなどに着目しやすくするために、白い模造紙を各グループに準備する。 ・児童に声掛けや発問をすることで、何を基準に並べているのか児童の考えを把握する。 ・並べた意図を尋ねたり、並べた様子を賞賛したりすることで、児童が色や形、それらの組合せなどに着目しながら話し合ったり並べ替える活動に取り組んだりできるようにする。 <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>態度色や形、それらの組合せなどに着目し、色カードを見比べながら並べようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【観察・対話・発言】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・模造紙に並べた色カードの全体や素敵だと感じる部分を、1人1台端末で撮影する活動を通して、色や形、それらの組合せなどに着目した見方や感じ方を広げることができるようにする。 ・児童が撮影することで、それぞれの児童がどのような造形的な視点をもって鑑賞しているのかを自覚できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・素敵だと感じた部分を友人と話したり、学級全体で共有したりすることで、色や形、それらの組合せについての見方や感じ方を広げることができるようにする。 <div style="background-color: #e8f5e9; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>思・判・表（鑑賞）色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分や友人が制作した色カードの造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p style="text-align: right;">【観察・対話・発言・ワークシート】</p> </div>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【対話的な活動の場】 共同して活動することは、様々な発想や構想、アイデア、表し方などがあることに互いに気づき、表現や鑑賞を高め合うことにつながります。互いのよさや個性などを認め尊重し合う姿が生まれ、豊かな人間関係の構築へつながっていきます。</p> </div> <div style="background-color: #e1f5fe; padding: 5px; border-radius: 10px;"> <p>工夫3 多様な鑑賞の活動 →詳細はp.6</p> </div>
<p>終末</p>	<p>6 学習を振り返る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「色や形、それらの組合せのどのようなところに着目して活動をしたか。」という造形的な視点を提示し、友人の発言や考えについて振り返る活動を設定することで、児童が自分の見方や感じ方が広がることを実感できるようにする。 	<div style="text-align: right; color: #0070c0; font-weight: bold; font-size: small;">振り返り</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【振り返り】 めあてに沿った視点を提示し、本時の振り返りを行います。自分の学びや変容を自覚するとともに、友人のよさに気づくことにもつながります。</p> </div>

6 本時における指導の工夫

工夫1: 児童の意欲を引き出し、鑑賞する視点をもつための導入

導入では、児童が「やってみたい」「おもしろそう。」と思うように活動への意欲を引き出すことが大切です。また、児童が活動の見通しをもつことができるようにすることも大切です。本題材では、活動全体を通して必要となる鑑賞の視点を児童と共有できるようにすることも考えて、導入を行いました。

導入での教師と児童とのやり取り



色カードを3枚見てもらいます。みなさんは写真を見て、次の3つのことを教えてください。
1つ目は、何色が見えますか？
2つ目は、どのような混ぜ方をしていますか？
3つ目は、どのようなことをイメージしましたか？
1枚目を見てみましょう。（1枚目の写真を提示する。）



1つ目の色についての答えが聞こえてきました。ほかの2つについては、どうですか？



黒！ 黄色！ 緑！



児童

ぐにやぐにや。



へび！



お茶のイメージ。



色の感じと流れてる感じ。



おー、そういうことね。



どのような部分からお茶のイメージを感じましたか？



なるほど！
2枚目を見てみましょう。



青！ 水色！ 青と白！



海！ 空！ 波！



手で混ぜている。



いや、指で混ぜている。



確かに指を使っているみたい。



手？このようにして混ぜていますか？
（手の平を見せ、上から下へ動かしながら）



最後、3枚目を見てみましょう。



赤！ 緑！ 茶色！



マグマ！ 火山！ 土！



やっぱり指で混ぜている！



どうして指で混ぜていると思いましたか？

指紋がついてる。

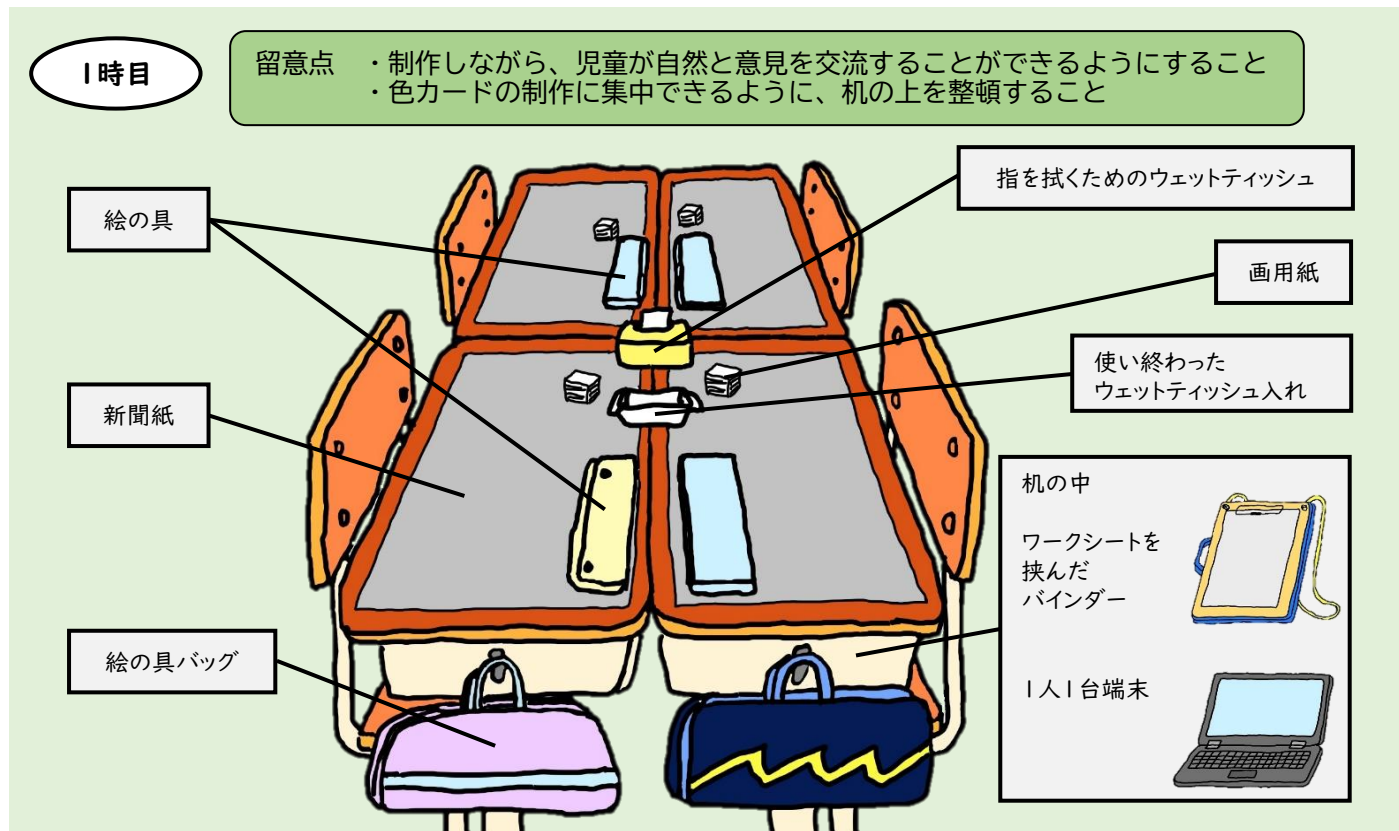


児童が3枚の色カードについて、3つの造形的な視点に対する気づきを発言し合うことで、鑑賞の視点を共有することができたと思います。児童は、それぞれの色カードの色や混ぜ方の違いに着目しながら、じっくり鑑賞し、指を使って混ぜていることに気付くことができました。その気づきから、「自分たちも指で絵の具を混ぜて色カードを制作するんだ。」と制作への意欲が高まっていきました。



工夫2: 児童が意見を交流し、見方や感じ方を広げるための場の設定

本題材では、1時目は互いの色カード制作の様子が見えるように机を班の形にして、2時目は並べたカード全体が見えるように模造紙を床に広げ、活動を行いました。



1時目は、互いの色カード制作の様子が見えるように机を班の形にしたことで、制作した色カードについて自然と交流する姿が見られ、児童が見方や感じ方を広げる場になっていたと思います。

2時目は、学習のねらいが1時目とは異なるので、活動の形態を変えました。模造紙を床に広げて色カードを並べることで、友人との距離が近くなり、意見の交流が活発になりました。また、いすに座らないことで動きやすくなり、並べる活動に積極的に取り組むことができました。並べた色カードを高い位置や横から見るようになったため、様々な視点から鑑賞を通して、児童が見方や感じ方を広げることができる場になっていたと思います。



工夫3:多様な鑑賞の活動

本題材では、自分が制作した色カードからお気に入りを選ぶ鑑賞の活動と、グループで色カードを見比べながら並び、並べた色カードの素敵な部分を見付けたりする鑑賞の活動に取り組みました。

1時目

制作した色カードからお気に入りを選ぶ鑑賞の活動



色の組合せや混ぜ方などに着目して、自分のイメージをもちながら、制作した色カードの造形的なよさや面白さを感じ取っています。



選んだ理由をワークシートに記入しています。写真の児童は、「ちょうどいいくらいにまざって、まん中だけが白っぽいからすきです。タイトルは夜空です。」と書いています。

2時目

グループで色カードを見比べながら並べる鑑賞の活動



このグループは、色カードを出し合い、似た色を集めています。めあてを達成するために、素敵な並べ方のアイデアを出しながら話し合っているところです。



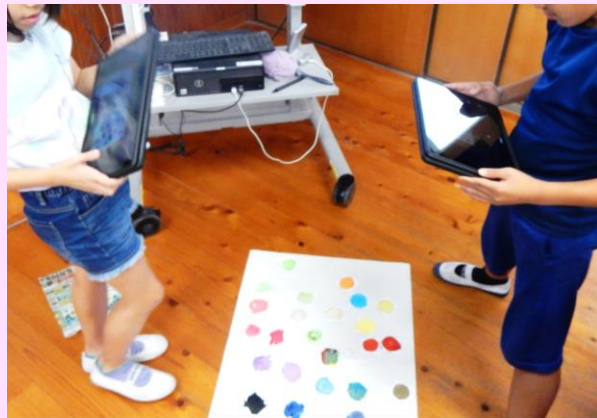
暗い色から順にヒストグラムのように並べています。グループで話し合った結果、出てきた並べ方です。列で色カードの枚数が違うのは、児童たちなりの明度によるものです。

2時目

並べた色カードの中から素敵だと思う部分を見付ける鑑賞の活動



並べた色カードの中から、特に素敵だと思う部分を1人1台端末で撮影をしています。造形的な見方・考え方を働かせながら、どのように切り取るかを考えています。



同じ色カードでも、見る視点によって感じ方は変わります。素敵だと感じた見る視点が友人と異なることを知ることで、更に自分の見方や感じ方が広がります。

7 児童のワークシートより

ワークシートなどの児童による記述からは、教師が観察では見取ることができなかつた姿や、児童の思いや考えを知ることができます。

1時目

お気に入りのカードを選んだ理由

一番のお気に入りカードは「ブラックホール」で、理由はみんながすいこまれそうと想っていたからです。

☞吸い込まれそうと想像し、「ブラックホール」と名付けていることから、色や混ぜ方に着目し、友人の見方や感じ方も参考にしながら、鑑賞していたことが分かります。

黄色とあい色しか使っていないのに、緑が見えてきれいで、ジャングルのように見えるからです。

☞黄色と藍色を混ぜると、緑色ができることを発見し、その色や混ぜ方からイメージを膨らませていたことが分かります。

2時目

学習の振り返り

ならべたときに、四角の形に無げんのグラデーションができたので、とてもおもしろく、とてもなっとくするなれば方になりました。

☞「無限」や「グラデーション」と表現していることから、グループで並べた色カードの色や形のつながりに着目しながら、造形的なよさや面白さを捉え、楽しそうに鑑賞している様子が分かります。

グループで色を見くらべたら、寒色とだん色に分けることができるとすごいなと思いました。私の色カードと〇〇さんの色カードの相性がばつぐんで、お気に入りです。

☞友人との関わりの中で、互いが制作したそれぞれの色カードの面白さと、それらを組み合わせると並べた色カードの面白さに気付いていることから、この児童の見方や感じ方が広がっていることが分かります。

白を近くに置いた方が、色が目立ってそんざい感を引き出せることができると分かりました。

☞活動全体を通して、「白い色」に関する新たな気付きがあり、「白い色」に関する造形的な視点が、今回の学習の過程を通して更新されていることが分かります。

8 授業者の声

本題材を通して、児童が主体的に学び、見方や感じ方を広げるためには、「場の設定」と「多様な鑑賞の活動の設定」の二つの工夫が有効であったと考えました。

まず、児童同士が自然と意見を交流することや、様々な視点で色カードを鑑賞することを想定した上で、場を設定しました。色カードを制作する際に、児童は、つくりだす喜びを味わい、「これが一番好き！」と愛着をもったり、「メロンソーダ！」と名前を付けたりしながら、感じ取ったり考えたりしたことを交流していました。

次に、多様な鑑賞の活動を設定しました。お気に入りの色カードを選ぶ鑑賞の活動では、色の組合せや混ぜ方などに着目して自分のイメージをもちながら、色カードのよさや面白さを感じ取る様子が見られました。グループで色カードを見比べながら並べる鑑賞の活動では、色の明るさや同系色などに着目し、「中央から広がっていくように」や「均等に散らばるように」など、互いが納得できるようにアイデアを出し合ったことで、児童は見方や感じ方を広げることができました。そして、並べた色カードの中から素敵だと思う部分を見付ける鑑賞の活動において、見る視点を変えながら1人1台端末で撮影をし、それを基に意見を交流したことが、更に児童の見方や感じ方を広げることにつながりました。自然と意見を交流することができる場と多様な鑑賞の活動を設定し、感覚や行為を大切にしたい指導を行うことは、児童の見方や感じ方を広げることに繋がると感じました。

今後も、題材を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にし、児童が主体的に取り組むことができるための手立てや場の設定を考えて授業づくりを行っていかうと思います。それに加え、教師の関わり方や声掛けの仕方についても研究を進めていきたいと思っています。